

二〇二一年度 選抜試験問題

国語総合 (試験時間 60分)

※ 問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 2 問題冊子は 11 ページで、解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ってください。

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、解答はすべて所定の解答欄に記しなさい。

国語辞典に載らない日本語

1 擬音語・擬態語は、普通の国語辞典には載りにくい。ちなみに「こけこっこー」という擬音語を手元にある小型の国語辞典で引いてみてください。出てきませんね。では、『広辞苑』クラスの大型国語辞典を引いてみてください。やっぱり出てこなかったでしょう？「うはうは」「かっくん」「がっぱがっぱ」「がはは」「じゃかじゃか」「ずでん」「にやんにやん」でも、同様です。こうした擬音語や擬態語は、日常よく使われるにもかかわらず、普通の国語辞典には載りにくい言葉なのです。なぜでしょうか？理由は、二つ。一つは、日本人なら辞書を引かなくても意味がわかる。二つは、いささか品に欠ける言葉なので辞書に載せるのは憚（はばか）られる。

でも、日本語の擬音語・擬態語に大いに悩まされている人々がいます。日本語を学ぶ外国人と日本語を他の言語に翻訳する人たちです。日本語の相当うまい外国人でも、擬音語・擬態語は苦手です。日本語の「ア達者な留学生が腹痛で医者に行ったら、「しくしく痛むの？きりきり痛むの？」と聞かれてとても困ったと訴えます。「しくしく」と「きりきり」の意味の違いが全く分からなかったそうです。擬音語・擬態語は、発音の響きが意味に直結しています。だから、日本語の中で育った人には感覚的に分かる言葉なのですが、そうでない環境に育った人には意味の「イ類推（い）がきかない。そこで、最近では外国人のための擬音語・擬態語辞典が出ています。

また、翻訳者たちも嘆いています。日本語を英語や中国語に翻訳しようとする、日本の擬音語・擬態語に「2 該当する語が存在しないことが多い。そこで、仕方なくそれに近い普通の語に置き換えて翻訳するのですが、そうすると日本の擬音語・擬態語の持っていた「カジヨウチョ（か）が失われてしまうと言います。日本語の擬音語・擬態語は、「3 翻訳者泣かせの言葉なのです。ですから、最近では擬音語・擬態語翻訳辞典のような特殊辞典が刊行されています。では、いったい擬音語・擬態語関係の辞典には、どのようなものがあるでしょうか？

〈中略〉

……、現在刊行されている擬音語・擬態語辞典は十数種類ありますが、①日本語を学ぶ外国人のためか、②翻訳のウ便宜のためか、③のいずれかの目的のために作られているというふうにとまどめることが出来ます。日本人が読んで「なるほど」とキナツトクするような擬音語・擬態語辞典はまだ刊行されていないのです。⁴ 私が欲しいのは、そういう辞典です。我々一般の日本人も満足するような擬音語・擬態語辞典は出来ないものでしょうか？

そこで、今までの日本語の擬音語・擬態語辞典……をじっくり眺め、不足している点を「見極めていこう」と思います。そうすれば、一般の日本人も満足するような「クカツキ的な擬音語・擬態語辞典がケコウソウされるはず」です。そうして、そんな辞典を、私はいつか作りたいと考えているのです。

〈中略〉

鶏の声はいつから「こけこっこー」

現行の擬音語・擬態語辞典には、さらにこんな問題があります。動物の鳴き声を表わす擬音語に対して極めて冷淡だという問題です。鳴き声の代表格「こけこっこー」に注目してみます。擬音語・擬態語辞典なのに、「こけこっこー」は、見出し語にすらなっていない場合があるんです。また、「こけこっこー」の見出し語がある辞典でも、その説明は極めて簡単。「鶏の鳴き声」だけ。ものすごく物足りない。

日本語を学ぶ外国人のための辞典の場合は、まだこれで足りませんが、日本人をも満足させるための辞典になるためには、深さと豊かさ、つまり、知られていなかった情報を盛り込む必要があるのです。

いったい、日本人は鶏の声をいつから「こけこっこー」と聞いてきたのか？昔の日本人は、鶏の声を我々とは違う言葉で聞いたのではないか？そうした「オ変遷」に日本の文化史が透けて見えるのではないか？こういった深い内容が要求されてきます。現在のところ、こうした突っ込んだ解説のなされた擬音語・擬態語辞典は出されていません。歴史的な観点からの擬音語・擬態語研

究が十分になされていないからです。

「ひんひん」「ほーほけきよー」といった馬の声や (うぐいす) 鶯 の声に関しても、かろうじて見出し語としてとりあげている擬音語・擬態語辞典は、一書ずつ。その他の辞典は、本文の見出しにすらしておりません。

カラスは「コロク」と鳴いていた

これからの擬音語・擬態語辞典としては、右の項でふれたように、歴史的な観点からの成果を盛り込んで作る必要があります。⁵ 背後に歴史のない解説は、実用には耐えませんが、文化史の厚みを添えてくれません。擬音語・擬態語辞典が真に辞典としての風格を備えるためには歴史的な観点から見た解説が **コヒツス** です。

一步歴史に足を踏み込むと、我々現代人には驚くことばかりなのです。現代人の知らないことばかりなのです。たとえば、「かあかあ」。現代人は、カラスの声をずっと昔からそう聞いてきたと思ひ込んでいますが、調べてみると、奈良時代の人は、「ころ」「から」、さらに「ころく」なんて聞いている。そして「ころく」に「児ころ来く（「ヤッコさんがやってくる）」との意味を掛けて楽しんでる。鎌倉室町時代には、カラスの声を「こかこか」と聞いて、「子こか子か」に掛けて、落し(ばなし) 斬(ばなし) まで作ってしまう。

「いやあ、カラスとスズメが親子だったの、知ってる？この間さ、道端でスズメがカラスに向かって『父ちち父ちち』と鳴いたら、カラスが、『おお、子こか子か』なんて答えてんだ」なんて。

これは、狂言『竹生島詣』に出てくる話。江戸時代になると、「かあかあ」が主流。だから、それをひねって「婢かかあ婢かかあ」に掛けて聞く。カラスの奴めがオレの女房を呼ぶように鳴いているぞと男は笑い飛ばしています。「阿あ呆ほう阿あ呆ほう」と人を小ばかにした鳴き声も江戸時代から。こういった現代人の知らない情報を盛り込んだ擬音語・擬態語辞典こそ、これから作られるべき辞典なのだと思います。

ビジュアル情報も欲しい

最後に、これからの擬音語・擬態語辞典は、ビジュアル情報も出来るだけ使うべきだと思います。特に、外国人にわかりにくいのは、擬態語の意味です。きちんとした意味説明をすることはもちろんですが、ビジュアル情報も意味をつかむのに効果的です。

最初の図8は、「ハッ」。突然我にかえる時の様子を表す擬態語。子供の「ママ危ない 赤だよ」という言葉で、考え事で頭が一杯だった状態から現実に戻る瞬間がつかみ取れるのではないのでしょうか。

「キッ」も説明しようとする、難しい擬態語ですが、相手の言葉にむかつ腹が立って相手を睨みつける図9から、「キッ」の語の感覚的な意味をつかんでもらえそうです。「サッ」もすばやい動作を、「コク」も頷く様子や音を表わすことを、

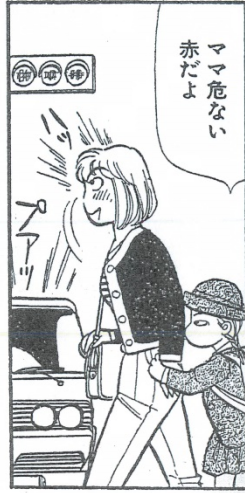
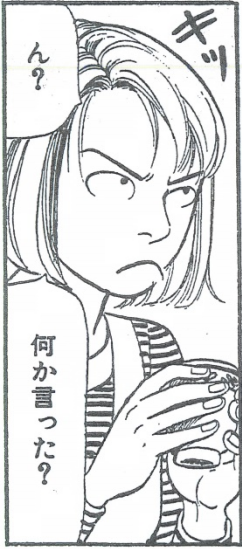


図8

『離婚予定日』粕谷紀子 (『Lady's Comic YOU』2001年11月号掲載)

図8 →

図9 ↓



何か言った?

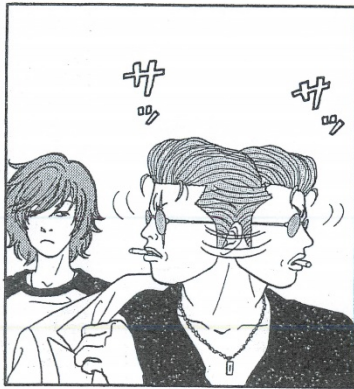


図10 ↑

図10「サッ」森本梢子 (『Lady's Comic YOU』2001年11月号掲載)



図11「真夜中の庭」津雲むつみ (『Lady's Comic YOU』2001年11月号掲載)

← 図11

5 以上の注文は、擬音語・擬態語好きの人間だからこそその願いなのです。そして、今に自分で擬音語・擬態語辞典を作りたい
と思っている人間の、熱い思いでもあるのです。

(山口仲美 「(6) 辞典の中の擬音語・擬態語」『犬は「びよ」と鳴いていた』光文社より)

*原文を(中略)した際、問題文として整えるために削除した箇所(……)があります。

問一 二重傍線部ア～オの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問二 二重傍線部カ～コのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

問三 傍線部1「擬音語・擬態語」について、次の例文では、傍線の言葉は(A) 擬音語、(B) 擬態語のいずれとして用いら
れているでしょうか。A、Bで答えなさい(以下、選択肢問題は、記号・番号で記入すること)。

- ① 宝くじがあたつてうはうはする。
- ② 勝っていたゲームで、急に点を取られてかつくんだった。
- ③ 雪道でずでんとひっくり返った。
- ④ ギターをじゃかじゃか鳴らす。
- ⑤ 子ネコがにやんににやん言っている。
- ⑥ どんぐりがころころころ転がる。

問四 傍線部2「該当する」と同じ意味になる最も適切な語を次から選びなさい。

- ① 順応する
- ② 相当する
- ③ 整合する
- ④ 即応する
- ⑤ 暗合する

問五 傍線部3「翻訳者泣かせ」は何を意味していますか。次からもっとも適切なものを選びなさい。

- ① 擬音語・擬態語は日本語にしかない表現であるから翻訳者が困る。
- ② 擬音語・擬態語は普通の語に置き換えられないから翻訳者が困る。
- ③ 擬音語・擬態語は、特殊辞典を使わないと翻訳できないから翻訳者が困る。
- ④ 擬音語・擬態語を翻訳すると、もとの雰囲気伝わらないから翻訳者が困る。
- ⑤ 擬音語・擬態語の正確な意味が掴みにくいから翻訳者が困る。

問六 傍線部4「私が欲しいのは、そういう辞典です」の「そういう」に筆者はどのような辞典を考えているでしょう。最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 特殊な言語の語彙を扱う特殊辞典
- ② 日本語を学ぶ外国人が日本語を上手く使えるようになる実用的な辞典
- ③ 翻訳によって本来のニュアンスを損なわれないような文学的解説がある辞典
- ④ 動物の鳴き声が豊富に収録されている辞典
- ⑤ 日本人が使っているほどと思いい、教養を深めることのできる辞典

問七 傍線部5 「背後に歴史のない解説は、実用には耐えませんが、文化史の厚みを添えてくれませんか」で筆者が伝えたいことは何でしょう。最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 現代社会で使われている言葉の実用的な解説が必要である。
- ② 外国人が日常生活で擬音語・擬態語を理解できるように解説が必要である。
- ③ 辞典には歴史的な観点からの成果が理解できるように解説が必要である。
- ④ 辞典が風格を備えるには文化史の厚みが必要である。
- ⑤ 辞典は現代人の理解できない掛け詞の文化の伝達が必要である。

問八 傍線部6 「以上の注文」を書いた筆者の「願い」や「熱い思い」を説明した文のうち、不適切なものを次から選びなさい。

- ① 擬音語・擬態語は、日本語のうまい外国人でも苦手になっているので、よい辞典が欲しい。
- ② 擬音語・擬態語はよく使われているのに、外国人や翻訳者向けの辞典しかないのが物足りない。
- ③ 擬音語・擬態語を普通の国語辞典、それも大型の辞典で丁寧な説明をして欲しい。
- ④ 擬音語・擬態語辞典は日本語の歴史を伝えるものであって欲しい。
- ⑤ 擬音語・擬態語辞典の現状は、説明がよくなく、不足している点が多い。

問九 筆者の理想とする擬音語・擬態語辞典の要件を全て解答欄に書きなさい。

二

次の文の（ ）の箇所にとの語句を補えばよいのか、最も適切なものを、それぞれア～ウの中から選びなさい。

- 1 本日の劇団公演は予定通り（ア）催行　イ 執行　ウ 敢行（ ）された。
- 2 会議の場は、主任の当を（ア）知る　イ 得た　ウ 射た（ ）意見でまとめられた。
- 3 保育園の運動会で、挙動の（ア）物騒　イ 不穏　ウ 不審（ ）な人が警備員に呼び止められた。
- 4 裏の畑では、さつまいもを（ア）栽培　イ 培養　ウ 育成（ ）している。
- 5 レンゲ畑が広がる（ア）温和　イ 気長　ウ 長閑（ ）な田園風景だ。

三

次の1～5は、目上の人やあまり親しくない人に対する言い回し（敬語）である。最も適切な表現をア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1 ここではゆつくりと（ア）食べて　イ 召し上がって　ウ いただいて（ ）ください。
- 2 3番線に急行電車が（ア）まいり　イ き　ウ 到着し（ ）ます。
- 3 あなたのお父さんは、どちらから（ア）まいられ　イ 来　ウ いらっしやい（ ）ましたか。
- 4 今日は（ア）会うことができ　イ お目にかかれて　ウ 参観できて（ ）光栄です。
- 5 こちらの作品から（ア）ご覧　イ 拝見なさって　ウ 見て（ ）ください。

四

次の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれ後ろの語群から選び、記号で答えなさい。

1 彼のわがままな態度にはヘイコウする。

2 彼はヘイコウ感覚が優れた人だ。

3 線路とヘイコウして走る道路を進んだ。

4 彼とはどこまで行ってもヘイコウ線だ。

5 △△高校はヘイコウすることになりました。

(ア 平行 イ 閉校 ウ 弊行 エ 並行 オ 閉口 カ 平衡)

6 今日の集会の講師のエンダイは「環境問題について」である。

7 彼の将来計画はエンダイである。

8 夏まつりにはエンダイに腰を下ろして花火を楽しんだ。

(ア 遠大 イ 縁台 ウ 演題 エ 円台)

9 彼女はシメイを帯びて支社に赴任した。

10 国語の時間、音読をさせるのに児童をシメイした。

11 ここに住所シメイを書いてください。

12 今度刊行する雑誌のシメイは『未来』である。

(ア 指名 イ 死命 ウ 誌名 エ 使命 オ 氏名)

13 その侍は、捕らわれてユウシユウの身となった。

14 彼女は、全てを失ってユウシユウにとざされている。

15 活力のある彼女はユウシユウの美をとげた。

(ア 憂愁 イ 有終 ウ 幽囚 エ 優秀)

五

次の1～5の空欄に適切な漢字を入れて四字熟語を作りなさい。(A)漢字はア～コから選び、記号で答えなさい。また、(B)正しい意味をa～gから選び、記号で答えなさい。選択肢には使わない漢字や意味もあります。

1 牛□馬食

2 牛□割鶏

3 馬□東風

4 犬□之仲

5 画□点睛

(A) ア 呑 イ 猿 ウ 歩 エ 刀 オ 猫 カ 刃 キ 耳 ク 龍 ケ 虎 コ 飲 ヾ

(B) a 小さなことを処理するのに、大きな方法を用いるたとえ。

b 人並み以上にむやみに飲み食いすること。

c 他人の意見や批評に注意を払わず、聞き流すことのとえ。

d 物事の大切などころの意。

e 強い者が機会をねらって形勢をうかがっているさま。

f 互いの仲が非常に悪いこと。

g 犬や馬のようにこれといった働きもせず、ただむだに年齢を重ねること。

一

問九	問四	問三	問二	問一
擬音語・擬態語に ついて①納得の いく解説があり ②動物の 鳴き声の種も 豊富で③語と 文化の関わりも 歴史的動背景 を含めて解説し ④視覚的な説明 も取り入れている。	2	① B	カ 情緒	ア たっしや
	問五	② B	キ	イ るいすい
	4	③ B	ク	ウ
	問六	④ A	ケ	エ
	5	⑤ A	構想	みきわ
	問七	⑥ B	コ	オ へんせん
	3		必須	
	問八			
	3			

4*3+1 13 4*5 20 2*6 12 2*5 10 2*5 10 100

二〇二一年度 国語総合 解答用紙

二

1
ア
2
イ
3
ウ
4
ア
5
ウ

1*5 5

三

1
イ
2
ア
3
ウ
4
イ
5
ア

1*5 5

四

11	6	1
オ	ウ	オ
12	7	2
ウ	ア	カ
13	8	3
ウ	イ	エ
14	9	4
ア	エ	ア
15	10	5
イ	ア	イ

1*15 15

五

B	A
1	1
b	コ
2	2
a	エ
3	3
c	キ
4	4
f	イ
5	5
d	ク

1*10 10

氏名

受験番号

0 65

35